

【申請・交付期間】平成28年7月1日～平成29年2月28日

【有効期限】平成29年3月31日

平成28年7月1日スタート

仙北市は、おうちですくすくを応援します!

仙北市在宅子育てサポート事業

在宅で就学前の子どもを子育てしている家庭のみなさんへ、市が指定する有料の子育てサービスに利用できる「サポート券」を交付します。

無料交付

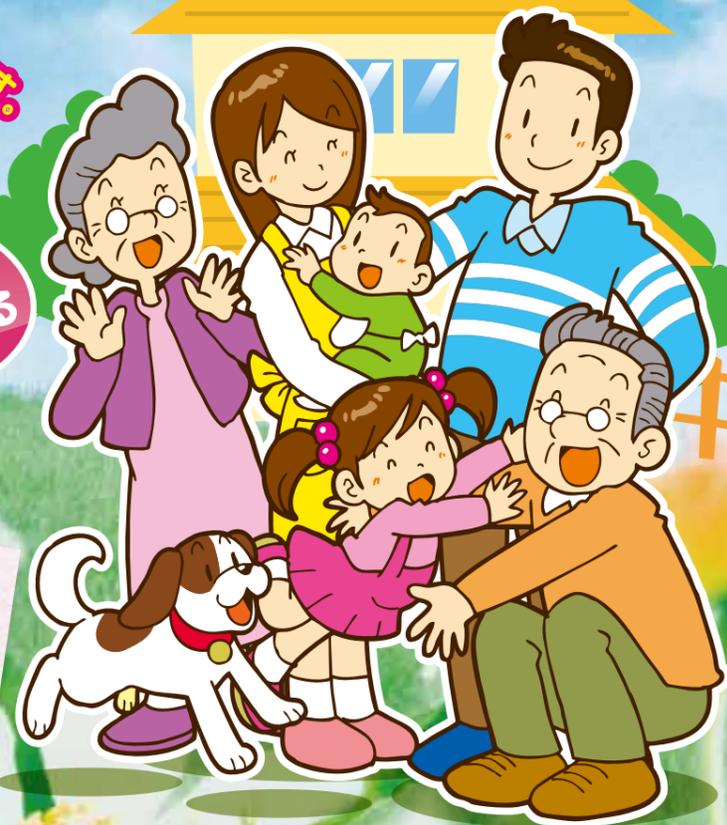
3つのプランの中から自由に選べます。

1 子どもの笑顔が広がるサービスプラン

2 家族の絆を深めるサービスプラン

3 一時的な保育を支援するサービスプラン

対象となるお子さん1人につき1セット。1セット1万円相当です。



申請できる方
(申請日時時点で
すべてに該当
している方)

申請先

- 1 児童及び保護者とも仙北市に住所を有すること
- 2 平成28年4月1日以前に生まれた小学校就学前児童の保護者(平成28年度内に満1歳～小学校就学前の児童)
- 3 認可保育園、認定こども園、認可外保育施設もしくは幼稚園に入所(仙北市外の施設を含む)していない児童の保護者
- 4 仙北市保育園入所待機児童等支援事業費補助金の交付対象となっていない児童の保護者
- 5 年度内に1回限りの申請であること

仙北市子育て推進課、各地域センター(サポートセンター)、各出張所
印鑑をご持参ください。毎月10日、20日、30日で申請を締め切り、その10日後より同一窓口にて交付します。(資格審査のためにお時間をいただきますことをご了承ください。)

【お問合せ】仙北市市民福祉部子育て推進課 TEL0187-43-2280 FAX0187-47-2116

まちづくり日記

No.102

『統計を予算編成に活用すること』

仙北市長 門脇 光浩

平成25年度の市町村別経済状況がまとまった。この経済計算年報(平成28年4月発行)を見ると、仙北市の総生産額は、率にして2.7ポイント、額にして20億円伸びている。県内13市の中でも上位4位に入る伸び率だ。でも実感がない。また春先の桜など、市内の花紀行に訪れたお客様の観光消費額調べ(秋田経済研究所)では、約74億円との発表があった。これも「えっ?」と言った金額だ。

先日、中坊徹次・京都大学名誉教授(田沢湖再生アドバイザー)が来市された。田沢湖の歴史を話し合っ中、「過去は未来を拓く扉だよ」との言葉をいただいた。合点がいった。さっそく担当から経済計算年報を借りて、改めて読み返した。

先ず産業区分で見ると、建設業は前年度と比較して約12億円増加していた。一方で農林水産業は4億円、製造業は8億円の減少だった。まごめて言うと、農業など生産業の第1次産業は5億円の減少、建設業・製造業など第2次産業は21億円の増加、ホテル・旅館・各種サービスなど第3次産業は4億円の増加だ。来年度の予算編成作業はこれからだ

が、この傾向から何が言えるか、仙北市の産業をどう育てるか、さらに詳細に統計分析を行いながら、対策として弱い部分を補強するのか、強い部分をさらに伸ばすのか、その方針設定に統計(過去の事実)を活用したい。

国や県の経済対策が、市内経済・市民所得を大きく左右することは、誰しもが認める。例えば公共工事などは、市の財源不足で皆さんに我慢をお願いしている場面が多く(本当にご免なさい)、県の事業採択に向け要望活動に汗を流す日が続く。しかし、同時に市と市民で努力して、自らが活路を拓く産業分野の育成がやはり必要だ。例えば弱い部分の補強策としては、転作物の導入栽培、既に全県で一番の作付面積となった漢方薬原料のさらなる拡大支援、強い部分を伸ばす手法では、新たな商工・観光強化策の実施など、すぐに幾つか思いつく。

社会保障や子育て、教育や産業育成などでは市独自政策が多く、市民からの税収等で賄われている。税収確保には所得確保が何より重要だ。仙北市には、産業育成が絶対欠かせない。

爽やかな湖畔の風を感じながら走ろう!

TAZAWAKO MARATHON

第31回田沢湖マラソン

2016年9月18日[日]

7月22日(金)です

エントリーの締切は

エントリー受付中!

今年の田沢湖マラソンは、9月18日(日)に開催されます。市民の皆さんも健康づくりのため、ぜひご参加ください。当日はコース周辺で交通規制が行われますので、ご協力をお願いします。



ゲストランナー 土佐礼子さん

その他問合せ

田沢湖マラソン実行委員会事務局
(教育委員会スポーツ振興課内) ☎43-1116
E-mail marason@city.semboku.akita.jp

エントリーについての問合せ

田沢湖マラソンエントリーセンター
(南ラップシステム内) ☎0463-35-6691